



☆☆☆ 学びの羅針盤 ☆☆☆

Learning Compass

きたえ ふれあう 富沢っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ
家庭・地域に帰します！



◇教育目標:夢をもち 未来を拓く子ども

◇重点目標:人・社会・未来とつながるWell-being2023 ~学び・教え合う、認め・高め合う子どもの育成~

「想像力と思い込み」「不測の備え・不断の備えと正しい言動」

校長 大野 昌広

令和6年の幕開けは、大きな災害と事故によって、お正月気分どころではなくなったスタートになりました。

年明け早々、この災害と事故から何を学び、学校教育においてどのように環境を整備し、何を指導をしていかなければならないのか、ということについて考えました。私は、冬休み中の1月12日に行われた職員会議のなかで、本校職員に次の2点について話をしました。1つ目は、「想像力と思い込み」ということについて。日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震や南海トラフ巨大地震、首都直下地震等が近い将来にやってくるといわれています。あらゆる最悪の状況を想定し、現在の課題を洗い出し、改善していくという想像力と実行力が必要であるということ、そして、能登半島地震がそうであったように、想定されている日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等が旭川市から離れた場所だから大丈夫、というのは、「思い込み」だと戒めて考えなければなりません。私は、平成30年9月6日午前3時7分に発生した北海道胆振東部地震とその後のブラックアウトを忘れてはいけません。その上で、2つ目は、「不測の備え・不断の備えと正しい言動」ということについて。私が本校に着任し、すぐに着手したひとつに危機管理マニュアルの改定がありました。安全・安心が学校教育の大前提。作成した約80ページ弱の冊子は、本校職員のみならず、いざというときのためにお二人の町内会長さんにも手渡しています。本校の危機管理は「① 子供の生命、安全の確保を第一とする。② 指揮・命令、報告・連絡の徹底を図り、学校全体として組織的な対応を行う。③ 地域、保護者や関係機関と密接な連携を図り、一体となって対応する。」の3点を基本原則にしています。地震災害の際の想定される事態として、「建物倒壊、家具等の転倒・落下、液状化、二次災害としての火災、ライフライン寸断等」があります。本校の地震発生時の体制については、震度5弱または5強の地震が発生した場合は「警戒本部」、震度6強以上の地震が発生した場合は「事故・災害対策本部」を設置することになっています。体育館は避難所として開放します。地震発生時の想定される状況に応じて、次の3段階を計画しています。

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| ① 一次避難（その場で身を守らせる） | → 地震発生直後は身を守る行動 |
| ② 二次避難（校庭・体育館へ） | → 地震が収まったら直ちに安全確保のための避難行動 |
| ③ 三次避難（校外へ） | → 火災や津波の発生を想定し、より安全な場所への避難行動 |

本校は、「不測の備え・不断の備え」として、火災や地震を想定した避難訓練を行っていますが、地震を想定した訓練の場合も、子どもたちに予告するかしないか、火災があるかないか、避難経路一部使用不可とか、管理職不在、電話不通、停電など、いろいろと想定できます。能登半島地震のように冬の寒い時期での対応も想定しなければなりません。すでに本校は、さまざまな状況を想定した避難訓練を行っていますが、令和6年度はさらに実践的な避難訓練を複数回実施する予定です。ちなみに、本校が現在備蓄している災害用品は次のとおりです。

No.	品名	規格	単位	数量
1	コークストープ		式	3
2	コークス	20kg入り	袋	45
3	やかん		個	2
4	大鍋		個	2
5	生活用水質機材		式	1
6	簡易水槽	560ℓ	個	5
7	発電機	定格出力1.6Kva	個	1
8	携行缶	20ℓ	個	1
9	コードリール	30m	個	2
10	投光器	三脚付き	個	2
11	金切鋏		丁	2

ウェブ、新聞などのメディアが発信している情報を正しく読み取り、理解した上で活用する能力等（のこと）を強化していかなければならないと感じています。

1月15日（月）に第3学期始業式を行いました。富沢っ子の活気あふれる声が校舎に響きます。私は始業式の中で子どもたちに感謝の大切さをお話ししました。日々、感謝の気持ちをもって生活してほしいということ。そして、感謝の気持ちをきちんと表現すること。感謝の気持ちを表現する言葉として、最も簡単に伝わりやすいのが「ありがとう」という言葉。家族に、友達に、先輩・上級生に、先生方に、「ありがとう」「ありがとうございます」という言葉を伝えてほしい。……こんなことをお話ししました。感謝の心を胸に刻み暮らすことは、人生を明るくし豊かなものにしてくれるに違いありません。

1年間のしめくりである第3学期がスタートしました。子どもたちの確かな成長を実感できる学校運営を継続してまいります。保護者・地域の皆様の本校教育への変わらぬご理解とご支援をお願いします。

